

事務事業名		農地効率利用奨励補助事業		目標設定日	平成29年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	部・局	経済部
	政策	03	農林業の振興	課・室	農政課
	施策	03	遊休荒廃農地対策	係	農政係
予算 体系	会計	一般会計		内線電話	250
	款	6款	農林水産業費	実施計画	
	項	1項	農業費	未計上	
	目	3目	農業振興費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	利用権設定を通じて農地を借りる者	意図（どのような状態にしたいのか）	担い手等への農地流動化及び農地集積を図る。
	現状・課題	農業従事者の高齢化、担い手不足等により、農地の遊休化が懸念される。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市農地効率利用奨励補助金交付要綱		
事務事業概要	農地貸借に関する相談及びあっ旋を通じ、農地の流動化及び集積化を図る。利用権設定を通じ、経営規模の拡大等を図る者に対して、補助金の交付を行う。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	農用地利用集積調整会議の開催		12回	
	農地効率利用奨励補助金の交付		延べ60者	

事務イン プット コスト	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円	3,060,000	3,060,000
補正予算		円			—
合計		円	3,060,000	3,060,000	3,060,000
決算（見込）額 A		円	3,497,925	1,392,850	—
財源内訳	国庫支出金	円			
	県支出金	円			
	市債	円			
	その他特定財源	円			
H29は予算額	一般財源	円	3,497,925	1,392,850	3,060,000
正規職員数		人	0.32	0.20	0.25
人件費 B		円	2,115,520	1,321,400	1,651,750
総事業費 A+B		円	5,613,445	2,714,250	4,711,750
市民1人当たりコスト		円	127	62	109

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
利用件設定農地面積		維持	目標	52	ha	52	ha	52	ha
			成果	83	ha	76	ha	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	農地流動化及び集約化を進めるため、利用権設定面積を成果指標とし、担い手、新規就農者の人数等を踏まえ、当該目標値を設定する。								

平成29年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	平成25年度に創設した関係機関による農地貸借情報交換体制の強化、農地中間管理事業の積極的な活用を行い、一層の農地流動化、集積化を図る。						

